

MUCHO-TL/TL-DSU の機能追加

このたびは ISDN/専用線対応アクセスルータ“ ムーチョ ” MUCHO-TL/TL-DSU をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

今回お買い求めいただいた MUCHO-TL/TL-DSU では、お客様から寄せられた数多くの要望の中から幾つかを選択し、提供しています。

本資料では、これらの機能に関して説明しています（取扱説明書では説明されていません）。

MUCHO-TL/TL-DSU をご使用前に本資料を良くお読みのうえ、正しくお使いください。

>>> 目次 <<<

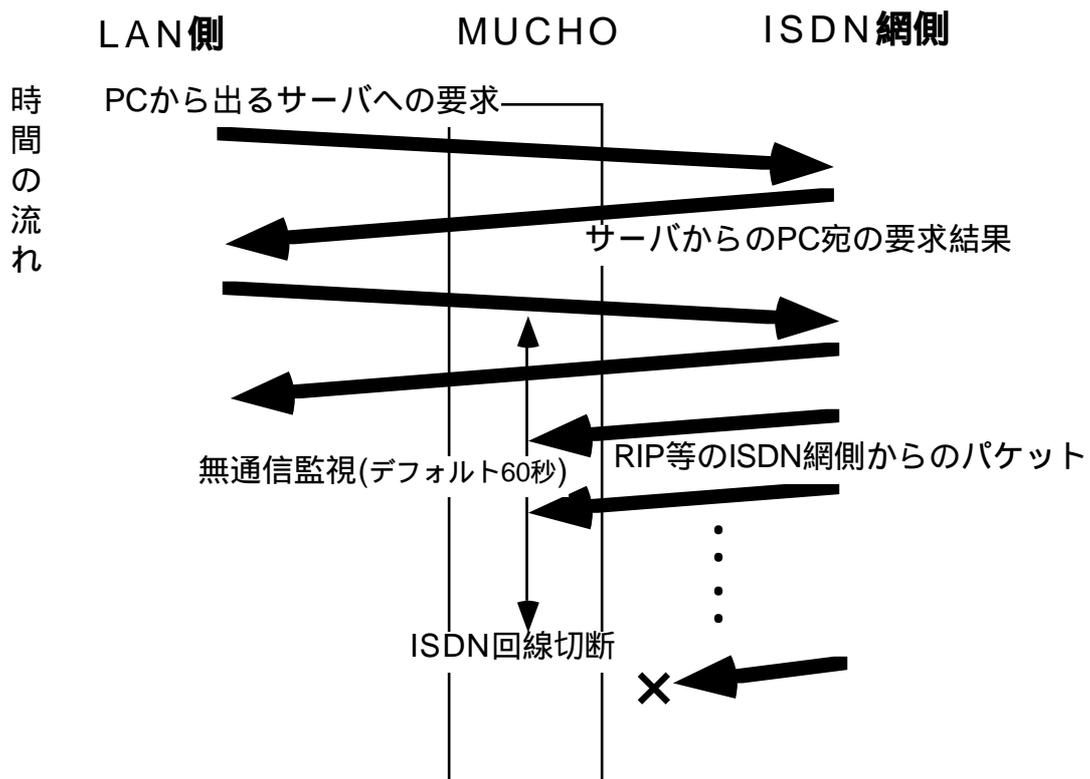
1. RIP を受信していても無通信監視が働きます	2
2. NAT ^{+(plus)} 機能を拡張しました	4
2.1. natport コマンド (NAT ^{+(plus)} リレーショナルポートの設定)	4
3. マルチキャストに対応しています	5
3.1. multicast コマンド (マルチキャストルーティングの指定)	5

1. RIPを受信していても無通信監視が働きます

WAN側からのパケットの受信は「通信状態」と見なさないようにする事ができます（回線毎にコマンドで設定可能）。

これにより、意図しないISDN網側からのパケット（RIP等）の受信が続いても無通信監視によりISDN回線を切断することができます。

ISDN網側からのパケット受信を無視する為には、コンフィグレーションモードで利用する isdn コマンド に用意した新しいパラメータ “recvidletimer” を “on” としてください。



< isdn コマンドでの新しいパラメータ >

recvidletimer={on | off}

on	ISDN網側からのパケット受信は無通信とする。
off	ISDN網側からのパケット受信は通信ありとする。(工場出荷時設定)

なお、このパラメータは Bch 回線毎に有効になりますので、isdn コマンドで設定する時は、回線の指定も必要です。

設定例

ISDN回線1B側ではISDN網側からのパケット受信しても無通信として取り扱う。

```
          :  
conf#  
conf#isdn -1 recvidletimer=on  
conf#
```

注：**斜体**は入力するデータです。

2. NAT^{+(plus)}機能を拡張しました

従来の NAT^{+(plus)} 機能に「リレーショナルポート機能」を盛り込み、LAN 側の PC がサーバへ送信する時の宛先ポートと、その PC がサーバから受信する時の受信ポートを設定する事で、LAN 側の PC を特定しなくても DIABLO™ などのネットワークゲームがお楽しみいただけます。

2.1.natport コマンド (NAT^{+(plus)} リレーショナルポートの設定)

```
natport [[add      rcvport=<受信ポート>      rport=<宛先ポート>]
| [delete
      [all | [rcvport=<受信ポート>]      [rport=<宛先ポート>]]]]
```

<内容>

LAN 側の PC が送信する時の宛先ポート番号と、同 PC が受信する時の受信ポート番号の組を登録します。

NAT^{+(plus)} 機能が有効なときに、WAN 側から受信したパケットの宛先アドレスを、"rport"で登録したポート宛のパケットを発行した LAN 側の PC の IP アドレスで置き換えます。

"rport"の決定は、一緒に"rcvport"で登録したポート番号と WAN 側から受信したパケットの宛先ポート番号が一致するものとします。

このコマンドはコンフィグレーションモードでご利用いただけます。

<パラメータ>

add	NAT ^{+(plus)} リレーショナルポートの登録をします。 最大登録件数：16件
delete [all]	指定の登録データを削除します。 "all"が指定された場合は全ての登録を削除します。
rcvport=<受信ポート>	WAN側からPCが受信するときの受信ポート番号 設定時の省略はできません
rport=<ポート番号>	PCがWAN側へ送信する時の宛先ポート番号 設定時の省略はできません

例：DIABLO™を楽しむ時の設定

```
conf#
conf#natport add rcvport=6112 rport=118
conf#
```

注：斜体は入力するデータです。

お知らせ

- ・"rcvport"で登録するポート番号と natplusstatictable コマンドの"local"で登録するポート番号が同じ場合、natplusstatictableコマンドで登録した内容が有効になります。
- ・複数のPCが同一のサーバに対してアクセスする場合はご利用できません。

DIABLO™ は、Blizzard Entertainment社の登録商標です。

3. マルチキャストに対応しています

push型情報伝達に利用されているマルチキャストパケットを中継できます。
NAT^{+(plus)} を利用している場合でもマルチキャストパケットは受信できます。
マルチキャストパケットを WAN 側に中継する場合はNAT^{+(plus)} を利用する事はできません。

3.1. multicast コマンド (マルチキャストルーティングの指定)

multicast [on | off]

<内容>

マルチキャストパケットを中継するか、破棄するか設定します。
このコマンドは ノーマルモード でご利用いただけます。装置をリセットしたり、電源を入れ直すとこの指定は off (装置起動時のデフォルト) になります。

<パラメータ>

on	マルチキャストパケットを中継します。
off	マルチキャストパケットを破棄します。(装置起動時のデフォルト)

© 1998.3 古河電気工業株式会社
Printed in Japan